# 変額保険
## グローバルミックス

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

2015年度
（2015年4月～2016年3月）
# 特別勘定の現況
## 決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

**アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社**

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

## 特別勘定の運用方針について

| 基本資産配分比率 | 運用方針 | 利用する投資信託 | |
|---|---|---|---|
| | | 投資信託名 | 委託会社 |
| 株式　50% | 日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。<br>基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。<br>運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。<br><br>（特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社　ALM＆特別勘定運用部が行います。） | アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）<br>〈適格機関投資家私募〉 | アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社 |
| | | アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）<br>〈適格機関投資家私募〉 | |
| | | アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）<br>〈適格機関投資家私募〉 | |
| | | アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）<br>〈適格機関投資家私募〉 | |
| 債券　50% | | アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）<br>〈適格機関投資家私募〉 | |

※　特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※　特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

# 変額保険
# 特別勘定の現況 （2015年4月～2016年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

## 運用環境 ［ 2015年4月～2016年3月 ］

### 【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。東証株価指数（TOPIX）は前期末比△12．70%下落の1，347．20ポイント（前期末は1，543．11ポイント）で終了しました。今期前半は、企業業績の拡大期待などから上昇基調で推移した後、中国景気の減速懸念などを背景に大幅に下落しました。今期後半は、補正予算・法人税減税などの先行きの政策期待などから一転上昇した後、急速な円高に加えて、10年国債利回りがマイナスとなったことで運用環境の悪化懸念が高まり、再び大幅に下落しました。期末にかけては原油価格の動向や各国の追加金融緩和を巡る思惑などから上昇基調で推移しましたが、前期末比較で下落して今期を終えました。

業種別（東証33業種）では、主要企業の業績拡大期待が高まった「水産・農林業」（前期末比＋29．63%）が最も上昇した一方、中国経済の減速により海上運賃市況が大幅に悪化した「海運業」（同△38．34%）が最も下落しました。

### 【外国株式市場】

米国株式市場は、下落しました。NYダウは前期末比△0．51%下落の17，685．09ドル（前期末は17，776．12ドル）で終了しました。今期前半は、ギリシャ債務問題などから小幅な揉み合いで推移した後、中国景気の減速懸念などから大幅に下落しました。今期後半は、米大手金融企業の好決算などから大幅に上昇した後、中国景気の減速懸念などを背景に大幅に下落しましたが、先行きの米国での利上げペースが緩やかとの見方が強まったことなどから、一転、期初の水準近くまで値を戻して今期を終えました。

欧州株式市場は、下落しました。概ね米国株式市場と同様の動きとなりましたが、今期後半は、中国株式や原油価格の下落などから大幅に下落した後、追加金融緩和観測などから上昇に転じましたが値を戻すまでには至らず、今期を終えました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比△8．83%下落、仏CAC40は同△12．88%下落、独DAXは同△16．72%下落となりました。

### 【日本債券市場】

日本債券市場は、金利はマイナス圏まで低下しました。新発10年国債利回りは△0．05%となりました（前期末は0．40%）。今期前半は、欧米金利の上昇などにより金利は上昇（価格は下落）しましたが、米利上げ見送りや日銀の追加金融緩和への思惑などから、低下（価格は上昇）基調で推移しました。今期後半は、日銀のマイナス金利導入決定により急低下した後も、プラスの利回りを求めて超長期国債を買う動きが加速したことなどから、金利はマイナス圏まで低下して、今期を終えました。

無担保コール翌日物金利は概ね0．0から0．1%近辺で推移していましたが、その後日銀が一部当座預金にマイナス金利を適用したことを受けて水準を切り下げ、概ね△0．02～0．01%近辺で推移しました。

### 【外国債券市場】

米国債券市場は、金利は低下しました。米10年国債利回りは1．77%となりました（前期末は1．92%）。今期前半は、原油価格の上昇などから金利は上昇した後、米利上げ見送りなどから低下基調で推移しました。今期後半は、米利上げ観測などから上昇しましたが、米国や中国の景況感悪化などから大幅に低下して、今期を終えました。

欧州債券市場は、金利は低下しました。独10年国債利回りは0．15%となりました（前期末は0．18%）。ギリシャ債務問題や欧州の追加金融緩和を巡る思惑などを背景に、概ね米国債券市場と同様の動きとなりました。

FRB（米連邦準備制度理事会）は、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を0．25%引き上げ、年0．25～0．50%としました。ECB（欧州中央銀行）は政策金利を0．05%引き下げ、年0．00%としました。

### 【外国為替市場】

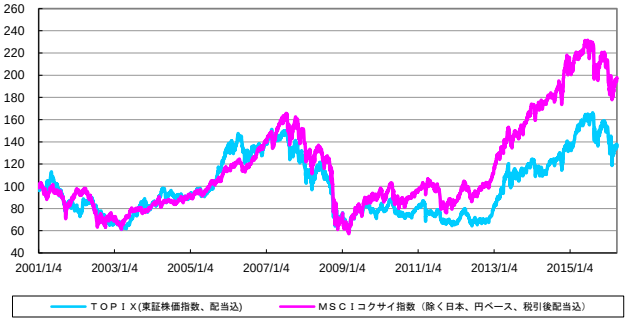
外国為替市場は、円安が進行した後、揉み合いながらも円高圧力が高まり、前期末比較で円高となりました。

米ドル／円相場では、前期末比7円49銭円高ドル安の1ドル＝112円68銭となりました。今期前半は、根強い米利上げ観測などから円安が進行した後は、中国経済の減速懸念などを背景に、揉み合いながらも急速に円高が進行しました。今期後半は、米国の利上げ観測などを背景に円安基調となった後円高に転じ、その後日銀によるマイナス金利導入決定などから一時円安となる場面もありましたが、米国での先行きの利上げペースが緩やかとの見方などから、急速に円高が進行して、今期を終えました。

ユーロ／円相場は、前期末比2円62銭円高ユーロ安の1ユーロ＝127円70銭となりました。今期前半は、ユーロ圏のデフレ懸念が後退したことなどを背景に、円安が進行した後は、揉み合いで推移しました。今期後半も、ECBによる金融政策や日銀によるマイナス金利導入決定などから揉み合う展開となりましたが、英国のEU（欧州連合）脱退を巡る不透明感や独大手銀行の債券利払い懸念など欧州での信用不安が高まり、円高が進行しました。

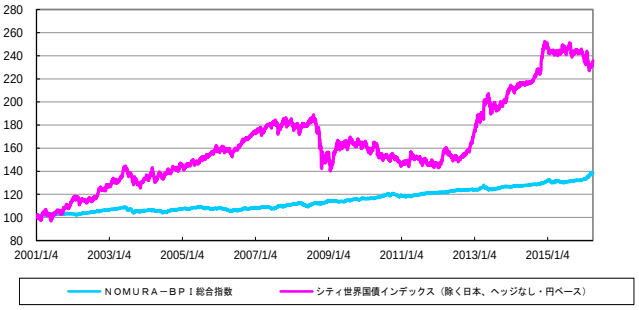
**日本と外国の株式市場の推移**

＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

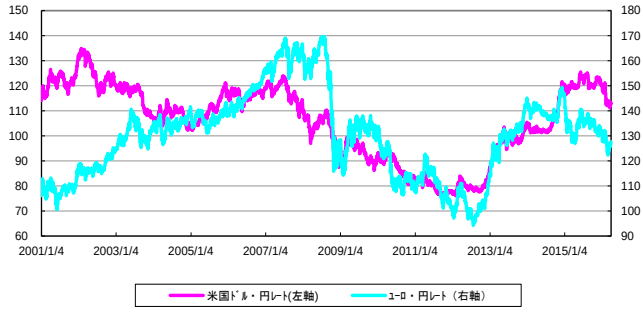



**日本と外国の債券市場の推移**

＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。




**外国為替市場の推移**




出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値


【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

# 変額保険
# 特別勘定の現況　（2015年4月～2016年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定の運用状況　[ 2016年3月 末日現在 ]

■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

| | 2016年3月末 | 2015年12月末 | 2015年9月末 | 2015年6月末 | 2015年3月末 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| INDEX | 1.151 | 1.191 | 1.138 | 1.202 | 1.189 | |
| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
| 騰落率（%） | 2.30 | ▲ 3.39 | 1.10 | ▲ 3.22 | 16.81 | 15.10 |

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1．00として計算しています。
※ 騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

| 項目 | | 金額（千円） | 比率（%） |
|---|---|---|---|
| 現預金・その他 | | 1,854,102 | 4.3 |
| その他有価証券 | | 41,419,615 | 95.7 |
| | アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A） | 4,311,669 | 10.0 |
| | アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B） | 6,338,122 | 14.6 |
| | アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A） | 6,725,485 | 15.5 |
| | アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A） | 4,562,699 | 10.5 |
| | アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B） | 19,481,637 | 45.0 |
| 合計 | | 43,273,718 | 100.0 |

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

| 項目 | 金額（千円） |
|---|---|
| 利息配当金収入 | 880,182 |
| 有価証券売却益 | － |
| 有価証券評価益 | ▲ 2,217,936 |
| 有価証券償還益 | － |
| 為替差益 | － |
| その他収益 | － |
| 有価証券売却損 | － |
| 有価証券評価損 | － |
| 有価証券償還損 | － |
| 為替差損 | － |
| その他費用及び損失 | － |
| 収支差計 | ▲ 1,337,753 |

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。日本債券を除く、全ての資産がマイナスに寄与しました。
資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。（株式部分は、日本株式25%程度、欧米株式25%程度の資産配分といたしました。）
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。


【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

# 変額保険
# 特別勘定の現況　（2015年4月～2016年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉　［ 2016年3月 末日現在 ］

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

※　当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 投資信託 | 5.23% | ▲12.56% | ▲4.29% | ▲11.05% | 35.04% | 19.79% |
| BM | 3.80% | ▲12.93% | ▲4.53% | ▲12.70% | 30.20% | ▲9.13% |
| 差 | 1.42% | 0.37% | 0.24% | 1.65% | 4.83% | 28.92% |

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年8月3日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）*1です。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 業種 | マザーファンド |
|---|---|---|---|
| 1 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 3.67% |
| 2 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 2.26% |
| 3 | KDDI | 情報・通信業 | 2.23% |
| 4 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 1.88% |
| 5 | 日本たばこ産業 | 食料品 | 1.81% |
| 6 | 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 1.63% |
| 7 | みずほフィナンシャルグループ | 銀行業 | 1.41% |
| 8 | ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 1.31% |
| 9 | NTTドコモ | 情報・通信業 | 1.18% |
| 10 | 本田技研工業 | 輸送用機器 | 1.16% |
| 合計 | | | 18.56% |
| 組入銘柄数 | | | 302銘柄 |

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

## アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉　［ 2016年3月 末日現在 ］

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※　当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 投資信託 | 5.30% | ▲12.66% | ▲3.55% | ▲8.37% | 37.34% | 43.05% |
| BM | 3.80% | ▲12.93% | ▲4.53% | ▲12.70% | 30.20% | 4.49% |
| 差 | 1.50% | 0.27% | 0.99% | 4.33% | 7.14% | 38.56% |

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）*1です。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 業種 | マザーファンド |
|---|---|---|---|
| 1 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 3.42% |
| 2 | 日本電信電話 | 情報・通信業 | 2.68% |
| 3 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 2.66% |
| 4 | 日本たばこ産業 | 食料品 | 2.48% |
| 5 | KDDI | 情報・通信業 | 2.38% |
| 6 | 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 2.35% |
| 7 | みずほフィナンシャルグループ | 銀行業 | 1.83% |
| 8 | アステラス製薬 | 医薬品 | 1.80% |
| 9 | 日産自動車 | 輸送用機器 | 1.66% |
| 10 | 三菱電機 | 電気機器 | 1.62% |
| 合計 | | | 22.89% |
| 組入銘柄数 | | | 180銘柄 |

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～6ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

# 変額保険
# 特別勘定の現況　（2015年4月～2016年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉　［ 2016年3月 末日現在 ］

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

| | 過去1カ月 | 過去3カ月 | 過去6カ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 投資信託 | 5.35% | ▲0.72% | 9.27% | ▲1.35% | 36.00% | 90.20% |
| BM | 5.83% | ▲0.92% | 9.09% | ▲1.71% | 30.01% | 49.67% |
| 差 | ▲0.48% | 0.20% | 0.17% | 0.35% | 6.00% | 40.53% |

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数*2（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 国名 | セクター | マザーファンド |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ALPHABET INC-CL A | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 2.97% |
| 2 | APPLE INC. | アメリカ | テクノロジー・ハードウェア | 2.89% |
| 3 | JOHNSON & JOHNSON | アメリカ | 医薬品・バイオテクノ・ライフ | 2.48% |
| 4 | MICROSOFT CORP | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 1.89% |
| 5 | AT&T INC. | アメリカ | 電気通信サービス | 1.73% |
| 6 | EXXON MOBIL CORP | アメリカ | エネルギー | 1.72% |
| 7 | PFIZER INC. | アメリカ | 医薬品・バイオテクノ・ライフ | 1.72% |
| 8 | FACEBOOK INC. | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 1.64% |
| 9 | THE HOME DEPOT INC. | アメリカ | 小売 | 1.47% |
| 10 | INTEL CORP | アメリカ | 半導体・半導体製造装置 | 1.40% |
| 合計 | | | | 19.91% |
| 組入銘柄数 | | | | 236銘柄 |

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

## アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉　［ 2016年3月 末日現在 ］

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券（適格機関投資家私募）に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

| | 過去1カ月 | 過去3カ月 | 過去6カ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 投資信託 | 2.84% | ▲5.55% | 2.67% | ▲11.98% | 17.83% | 27.16% |
| BM | 2.70% | ▲5.80% | 2.12% | ▲13.31% | 9.72% | ▲6.05% |
| 差 | 0.14% | 0.25% | 0.55% | 1.33% | 8.11% | 33.21% |

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数*3（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 国名 | セクター | マザーファンド |
|---|---|---|---|---|
| 1 | NESTLE SA | スイス | 食品・飲料・タバコ | 2.87% |
| 2 | NOVARTIS AG | スイス | 医薬品・バイオテクノ・ライフ | 2.42% |
| 3 | HSBC HOLDINGS PLC | イギリス | 銀行 | 2.13% |
| 4 | BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC | イギリス | 食品・飲料・タバコ | 2.05% |
| 5 | GLAXOSMITHKLINE PLC | イギリス | 医薬品・バイオテクノ・ライフ | 2.01% |
| 6 | ANHEUSER-BUSCH INBEV NV | ベルギー | 食品・飲料・タバコ | 1.94% |
| 7 | SIEMENS AG | ドイツ | 資本財 | 1.74% |
| 8 | ROCHE HOLDING AG | スイス | 医薬品・バイオテクノ・ライフ | 1.65% |
| 9 | UNILEVER NV | オランダ | 家庭用品・パーソナル用品 | 1.64% |
| 10 | BASF SE | ドイツ | 素材 | 1.62% |
| 合計 | | | | 20.07% |
| 組入銘柄数 | | | | 211銘柄 |

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～6ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

# 変額保険
# 特別勘定の現況　（2015年4月～2016年3月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉　　[ 2016年3月 末日現在 ]

### ■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主として
アクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

### ■当投資信託の騰落率

| | 過去1カ月 | 過去3カ月 | 過去6カ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 投資信託 | ▲0.09% | 0.66% | 0.74% | 0.97% | 2.15% | 18.27% |
| BM | ▲0.17% | 0.90% | 1.09% | 1.49% | 2.73% | 23.84% |
| 差 | 0.08% | ▲0.25% | ▲0.35% | ▲0.52% | ▲0.58% | ▲5.57% |

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス（総合*4、中期3年以上7年未満）です。（※）
（※）当ベンチマークは、2016年5月から「バークレイズ日本総合（3-7年）インデックス」に変更となりました。

### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 国名 | クーポン | 償還日 | 格付 ムーディーズ | 格付 S&P | マザーファンド |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第320回利付国債（10年） | 日本 | 1.000% | 2021年12月20日 | A1 | A+ | 12.05% |
| 2 | 第312回利付国債（10年） | 日本 | 1.200% | 2020年12月20日 | A1 | A+ | 10.09% |
| 3 | 第311回利付国債（10年） | 日本 | 0.800% | 2020年9月20日 | A1 | A+ | 7.44% |
| 4 | 第309回利付国債（10年） | 日本 | 1.100% | 2020年6月20日 | A1 | A+ | 5.94% |
| 5 | 第313回利付国債（10年） | 日本 | 1.300% | 2021年3月20日 | A1 | A+ | 5.81% |
| 6 | 第322回利付国債（10年） | 日本 | 0.900% | 2022年3月20日 | A1 | A+ | 4.80% |
| 7 | 第5回新韓銀行円貨社債（2014） | 韓国 | 0.390% | 2017年11月13日 | Aa3 | A | 4.04% |
| 8 | 第328回利付国債（10年） | 日本 | 0.600% | 2023年3月20日 | A1 | A+ | 3.80% |
| 9 | 第2回スタンダード・チャータード・ビーエルシー | イギリス | 0.453% | 2020年6月5日 | A1 | BBB+ | 3.51% |
| 10 | 第315回利付国債（10年） | 日本 | 1.200% | 2021年6月20日 | A1 | A+ | 2.90% |
| 合計 | | | | | | | 60.39% |
| 組入銘柄数 | | | | | | | 45銘柄 |

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

## 用語説明

＊1「東証株価指数（TOPIX）」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（以下㈱東京証券取引所）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。
㈱東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

＊2「S&P500種株価指数」とは、スタンダード＆プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード＆プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、S&P500種株価指数（米ドルベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。

＊3「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、MSCI欧州株価指数（現地通貨ベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。

＊4「日興債券パフォーマンス・インデックス（総合）」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。
同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はSMBC日興証券株式会社に帰属します。また、SMBC日興証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

## 注意事項

○変額保険の仕組み
変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
＊特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

○変額保険のリスクについて
①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　・4ページ～6ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、6ページに記載しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/